

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告概要 (2021年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第1回幹事会：2021年8月26日（木）10:00～ 参加人数：11名

1. 自然災害研究協議会報告

松本部長より、令和3年4月30日（金）開催の令和3年度第1回自然災害研究協議会（遠隔会議）について、主として以下のことが報告された。

- ・「第58回自然災害科学総合シンポジウム」が9月13日（月）にオンラインにて開催予定。
- ・令和3年度自然災害研究協議会予算（案）：予算の繰越はできない。災害調査が発生する場合次の条件を満たすことで備品購入も認められる。調査費に余裕があること・備品は防災研の資産として管理される。
- ・自然災害研究協議会科研費（突発災害）申請ガイドライン（案）：申請は協議会からするもので、必要な時は協議会と相談して申請。

2. 2020年度決算報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,104,901円（2019年度繰越分を含む）

支出：981,517円

残高：2,123,384円

寄附金

収入：440,793円（2019年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

3. 2021年度予算案

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,296,384円（2020年度繰越分を含む想定額）

支出：1,173,000円

寄附金

収入：440,793円（2020年度繰越分）

支出：支出予定なし

→人件費について、相馬様の代わりに桐本が自然災害資料室の事務を担当することで、桐本の人件費も含まれる旨ご了承いただきたいと連絡があった。

4. 2021年度地区フォーラムについて

菊地センター長より、フォーラムのテーマについて雪害と千島海溝沖巨大地震を提案された。尾関先生より雪害については、来年度札幌で雪氷研究大会との共催で開催のご提案頂いた。千島海溝沖巨大地震については、高井先生より谷岡先生へ地震火山研究観測センターでのシンポジウムとの共催を依頼され、谷岡先生ご担当で共催で開催させて頂くこととなった。また、シンポジウムの開催は2022年3月19日（土）ごろを予定しており、2021年10月頃に確定すると報告された。

5. 総会特別講演会について

菊地センター長より、理学研究院 中川先生・工学研究院 蟹江先生・清水先生へ打診し、総会特別講演会の講演者としてご快諾いただいたと報告された。今年度の総会特別講演会は2022年3月16日（水）午後の総会後を予定していると報告された。また、山下先生より清水先生へ日程をお伝えし確認いただくこととなった。

→幹事会終了後、清水先生にご快諾いただいた。

6. センター業務報告

菊地センター長より、昨年度総会時の資料が最新版であるため、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 76 名、協力員 63 名、合計 139 名

資料の受入：寄贈 8 件

資料の貸出し・閲覧：0 件

WEB サイトについて：公開中

→部会員の人数については、定年の方などわかり次第、随時更新していく。

7. センター報告について

菊地センター長より、センター報告 35 号の原稿を募集中であるとの連絡があった。

フォーラム報告については、早川先生よりどなたかへ依頼いただくこととなった。

報文について、尾関先生へ岩見沢の雪害についてのご寄稿を検討いただくこととなった。菊地センター長よりコロナ関連をテーマにすることも提案され、工学研究院 林基哉先生へ打診することとなった。

→幹事会終了後、林先生にご快諾いただいた。

第2回幹事会：2021年12月23日（木）10：00～ 参加人数：14名

1. 自然災害研究協議会報告

松本部長より、令和3年9月13日（月）開催の令和3年度第2回自然災害研究協議会について、主として以下のことが報告された。

- ・第58回自然災害科学総合シンポジウム：令和3年9月13日（月）にオンラインにて開催された
- ・河川災害に関するシンポジウム：令和3年12月8日（水）にオンラインにて実施された
- ・科研費（特別研究促進費）・突発災害調査：現在なし
- ・自然災害研究協議会による突発災害（初動調査、継続的調査等）調査研究サポート：
1) 東ティモール災害の調査支援 2) 熱海市土石流災害の災害調査が実施された
- ・データベース SAIGAI：不要な資料の廃棄が進められている
京都大学内で新しいサーバへの移転作業が進められている
- ・国際展開調査：5th Global Summit of GADRI 世界防災研究所サミット（8月31日～9月1日）の
パネルディスカッションにて、自然災害研究協議会の活動に関する講演を実施

また、松本部長より、北海道地区の予算について幹事会や総会のオンライン実施に伴い、旅費が発生しないため、当初の予算計画より変更があるが、本部より他の使途に利用可能と連絡があった旨報告された。菊地センター長より、額は未定だが予算残額は返納予定とし、本部より、返納による次年度予算への影響はないと確認済みと報告された。

2. 2021年度予算中間報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,296,384円（2020年度繰越分を含む）

支出：358,195円

残高：2,938,189円

寄附金

収入：440,793円（2020年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

→菊地センター長より、執行済み消耗品の内訳はHP更新料や合鍵の作成料であり、2,500,000円繰越申請していることが報告された。

3. 地区フォーラムについて

菊地センター長より、令和4年3月21日（月）を予定しており、オンライン開催または北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟にて地震火山研究観測センターと共催で「巨大地震と津波 ー千島海溝沿いの巨大地震に備える」をテーマに4名の方にご講演いただき開催することが報告された。谷岡先生より現状では対面実施だが、北大のBCPレベルが上がる場合は速やかにオンライン実施に切替・案内できるよう対策すると伝えられ、フォーラムのポスターは年明けに配布予定と報告された。時間については未定。高井先生より、フロンティア応用科学研究棟は9時～18時まで予約しており、午前は準備に、開催は午後を予定していると報告された。

4. 総会特別講演会について

菊地センター長より、令和4年3月16日(水)13時30分より総会を行うと報告された。総会は14時30分までの約1時間行い、14時45分から3名の方(工学研究院 蟹江先生・清水先生・理学研究院 中川先生)にお1人45分間(質疑応答を含む)ご講演いただき、17時ごろ終了予定と連絡があった。

5. センター業務報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員84名、協力員64名、合計148名

資料の受入：寄贈28件

資料の貸出し・閲覧：0件

WEBサイトについて：公開中

→菊地センター長より、HP更新は引継ぎされ次第、フォーラム等の更新を予定していると連絡があった。

6. センター報告について

菊地センター長より、今年度のセンター報告ご寄稿者は、尾関先生、林先生、川尻先生であることが報告された。尾関先生より昨年度の岩見沢の大雪についてご寄稿されることが報告された。岡田先生より、以前のセンター報告にて当該年度の北海道で起きた災害の記録表のようなものが収録されていたが、今年度より災害記録を再度収録することをご提案され、木幡先生より、以前災害記録が収録された際は、大きな災害が続いたため収録しており、その後全国紙に載るような大きな災害がなかったため、収録されていなかったのではと伝えられた。なお、岡田先生より災害の大小について基準はないと伝えられた。

菊地センター長より、過去のセンター報告や電子データを確認し、フォーマットを作成・配布し、各委員へ令和2年度以降の北海道での災害を記録いただき、事務が取りまとめ目次を追加して表を収録することが決定した。

7. その他

岡田先生より、自然災害研究協議会会員の方が加盟されている日本自然災害学会にて、学会長より北海道には20名ほどしか会員がおらず、ぜひ部会員の皆様には加盟いただきたいと依頼があった旨連絡があった。

また、木幡先生より室蘭工業大学より新規で10名部会員へ追加した旨報告された。

(2) 地区フォーラム

2022年3月21日(月) 13:30~16:10 オンライン開催予定

北海道大学地震火山研究観測センター共催シンポジウム

「巨大地震と津波 –千島海溝沿いの巨大地震に備える」

講演者:

- ・高橋 浩晃 氏 (北海道大学地震火山研究観測センター 教授)
「千島海溝沿いの巨大地震津波災害軽減に向けた総合研究」
- ・西村 裕一 氏 (北海道大学地震火山研究観測センター 准教授)
「地層から知る千島海溝沿いの巨大地震津波の履歴」
- ・高井 伸雄 氏 (北海道大学大学院工学研究院 准教授)
「千島海溝沿いの巨大地震による強震動災害」
- ・橋本 雄一 氏 (北海道大学大学院文学研究院 教授)
「千島海溝沿い巨大地震による津波避難を科学する」

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol. 35号の刊行 (2022年3月)

(4) 地区総会

2022年3月16日(水) 地区総会 13:30~14:30、特別講演会 14:45~17:00

オンライン開催予定

講演者:

- ・中川 光弘 先生 (北海道大学大学院理学研究院)
「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトについて」
- ・蟹江 俊仁 先生 (北海道大学大学院工学研究院)
「地球温暖化がもたらす危機: 極寒冷地域における社会基盤構造物を守るために」
- ・清水 康行 先生 (北海道大学大学院工学研究院)
「北海道の河川における近年の河道災害とその対応について」